

事務事業名(細目)	釜山町の観光ビジネス構築モデル事業	担当部課	生野支所 地域振興課
予算コード	02 - 01 - 11 - 201 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 生野支所費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増進》	事業開始年度	評価区分	計画
4	持続的な定住に向けた施策の推進	H 25	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	<p>生野地域の人口は約3,900人、高齢化率は約35%を占め、空き家の増加(約260軒)が問題となっている。これらの問題に加え、東京応化やSUMCOの企業撤退があり、ますます地域活力低下が危惧される状況となっている。第2次総合計画で、最重要課題としている人口政策としても、空き家を活用した定住促進、起業支援、企業誘致が求められ、経済成長戦略の中でも、市内観光関連産業の活性化を図ることも合わせて求められている。</p> <p>このような中、平成26年3月に、生野釜山と釜山町が、国の重要文化的景観に選定され、今後は、釜山の歴史的文化的遺産を保存するだけでなく活用するとともに、空き家を活用した滞在型観光ビジネスの構築に取り組むことで、空き家の活用、雇用創出につながることを目的としている。また、竹田城来場者の一部を宿泊へ繋げることで、経済波及効果の向上も期待する。</p>			
事業の実施内容等	<p>兵庫県で初めてとなる生野釜山及び釜山町の重要文化的景観の選定を契機として、歴史的遺産の保存だけでなく、空き家・町家を活用した観光ビジネス構築のために、専門家の派遣を受けて、空き家、町家活用の先導的な取り組みを進めます。</p> <p>(総務省外部専門家招へい事業により対応。総務省の地域力創造アドバイザーに登録された専門家を招へいし、地域の魅力や価値の向上に向けた指導助言をもらい、地域活性化に関する知見、ノウハウをもらい、地域力の向上を図る事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力、価値向上に向けた事業化理念の構築 ・魅力ある古民家の改修整備の指導助言 ・「食」「体験」など生野地域にある資源の活用と仕組みづくりに関する指導支援 ・経営団体(例)まちづくり会社、NPO等)の設立支援及び運営ノウハウの指導支援 ・生野地域の公共施設(井筒屋、浅田邸、甲社宅)の機能分担整理等への指導等 ・古民家を活用したスモールビジネス等の指導助言等 			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	1,208,250	専門家招へい謝礼	5,074,500
9.旅費	198,702	専門家招へい旅費	612,549
11.需用費			25,920
12.役務費			9,558
合計	1,406,952		5,722,527
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	1,406,952		5,722,527
合計	1,406,952		5,722,527
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

釜山町の観光ビジネス構築モデル事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	専門家招へい謝礼			5,074,500	1,208,250
9.旅費	専門家招へい旅費			612,549	198,702
11.需用費	講演会チラシ印刷費			25,920	
12.役務費	講演会チラシ折込手数料			9,558	
事業費計		0	0	5,722,527	1,406,952
[4]正規職員人件費				4,449,000	1,715,000
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		0	0	10,171,527	3,121,952
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			0	0
	[11]一般財源	0	0	10,171,527	3,121,952
[12]合計	0	0	10,171,527	3,121,952	
[13]国庫支出金を除いた比率			100.00%	100.00%	

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	回				
	回				
《変化の理由》					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
講演等専門家派遣回数	件			16	3
	名				
《変化の理由》					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
講演等専門家派遣回数			635,720	1,040,651
《変化の理由及びそれへの対応策》				
H26 観光ビジネス構築のため専門家派遣16回を受けた。専門家が推奨する地元管理運営団体を結成し、事業推進を図ろうとしたが、管理運営団体が結成されなかった。				
H27 専門家派遣3回を受けた。他市町での事例ばかりの押し付けで、生野にあったアドバイスは無かったため、派遣を打ち切った。				

釜山町の観光ビジネス構築モデル事業

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	地元主導の提案は、生野の地では馴染まなかった。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	-
【3】代替サービスの有無	-

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	方針:空家、町家を活用し観光ビジネス構築、地域の魅力・価値向上を図る事業展開。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	理由:古民家を活用したスモールビジネスの展開し、地域活力・活性化の増加、雇用の確保による定住促進、人口増。
サービス対象の広がり	2	○ 抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	1	休止	今後:甲社宅2棟において、社会実験として宿泊体験を行い、宿泊ニーズを把握し、今後の事業展開を模索する。
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	空家、町家を活用した事業等は重要であるが、市内並びに町内の観光産業の中でビジネスに結び付けるには非常に難しいと思われる。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	今年度実施予定の甲社宅2棟を利用した社会実験により、宿泊ニーズを把握することは必要であると思うが、事業の抜本的な見直しが必要と考える。
サービス対象の広がり	1	○ 抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
○ 抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	空家、町家の活用を含めて抜本的な見直しが必要である。
継続実施	
改善見直し	
○ 抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	山東いこいの家事業	担当部課	山東支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 200 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで生涯現役《自然減抑制》	事業開始年度	評価区分	計画
25	豊かな高齢社会の創出	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	高齢者の自立と社会参加及び介護予防を促進し、生きがいと健康づくりを目的とする。			
事業の実施内容等	旧小学校区(梁瀬・粟鹿・与布土)の地域ごとに、民生委員の協力のもと、概ね60歳以上の高齢者(登録者)を対象に「山東いこいの家」を開催した。(朝来市社会福祉協議会へ事業委託) 内容:生涯教室・健康教室・レクリエーション・講話・会食他 回数:3地域合同開催:年4回 地域別開催:年5回 延参加者数:854人			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
13.委託料	700,000	山東いこいの家事業委託料	700,000
合計	700,000		700,000
財源内訳			
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債	700,000	過疎地域自立促進特別事業債	700,000
その他			
一般財源	0		0
合計	700,000		700,000
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

山東いこいの家事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
13.委託料	山東いこいの家事業委託料	700,000	700,000	700,000	700,000
事業費計		700,000	700,000	700,000	700,000
【4】正規職員人件費			168,000	174,000	170,000
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		700,000	868,000	874,000	870,000
財源内訳	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債	700,000	700,000	700,000	700,000
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	0	168,000	174,000	170,000
	【12】合計	700,000	868,000	874,000	870,000
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
延実施回数	回	9	9	9	9
<変化の理由> 延実施回数は、横ばい状態である。これは委託先である朝来市社会福祉協議会の高齢者等の身体的負担等を考慮した実施計画に基づくものであり適当であると思料される。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
延参加者数		853	834	867	854
<変化の理由> 延参加者数は、ほぼ横ばい状態である。今後は実施内容を見直し、更に魅力ある事業とすることで参加者数の増加を図ることが重要であると思料する。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
延参加者数	821	1,041	1,008	1,019
<変化の理由及びそれへの対応策> 単位あたりの金額は横ばい状態である(H24の金額が低いのは、人件費データが無いため)。委託料も適当であり、参加者数の大幅な増減が無い限りは、この傾向は続くものと思料される。				

山東いこいの家事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	参加者からも継続を望む声が多い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	民生委員が協力する特色ある独自事業であり、比較はできない。
[3]代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 ◇旧町時代から実施されている特色ある健康と生きがいづくり事業であり、介護予防の側面もある。また、協力者である民生委員の情報収集の場ともなっており、内容を工夫しながら継続していくことが必要である。
A 事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	社会福祉協議会の全権委任としており、市の事業への関わり、事業の方向性、目的達成の評価ができていない。委託事業費70万円のほとんどが送迎バス費用に充てられることから、例年どおりの事業展開となり、改善見直しを必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	内容を工夫した上で継続実施とする。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	出会いサポート事業	担当部課	山東支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 203 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	23	好きなまちで子育て《自然増促進》	事業開始年度	評価区分	計画
		出会い応援事業の推進	H 22	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	本市の重要課題である少子化及び定住促進に関する一つの取り組みとして、近隣市内外の未婚の男女の出会いの場づくりとして交流事業を実施し、婚活(結婚活動)を支援する。				
事業の実施内容等	<p>朝来市・山東町のPRや市内外の未婚男女の出会いの場づくりなど特色ある交流事業として開催した。(ふんど温泉サポートクラブへ事業委託 年2回実施)</p> <p>「第9回ホットなで湯でお結びパーティー」 時期:平成27年7月12日(日) 場所:山東婦人・若者等活動促進施設「もやいの里」ほか 参加:男性23名 女性25名(成立カップル:7組)</p> <p>「第10回ホットなで湯でお結びパーティー」 時期:平成27年11月15日(日) 場所:山東婦人・若者等活動促進施設「もやいの里」ほか 参加:男性24名 女性19名(成立カップル:5組)</p> <p>《過去の開催実績(H28.3.31現在)》 ・開催回数...10回 ※第2回から委託事業として実施 ・延参加者数...435人(男性:221人 女性:214人) ・カップル成立数...49組 ・成婚者数...10組(予定者含む)</p>				

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
13.委託料	1,200,000	出会いサポート事業委託料	1,200,000
合計	1,200,000		1,200,000
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債	1,200,000	過疎地域自立促進特別事業債
一般財源	0		0
合計	1,200,000		1,200,000
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

出会いサポート事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
13.委託料	出会いサポート事業委託料	600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
事業費計		600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
【4】正規職員人件費		1,712,000	1,034,000	1,073,000	1,965,000
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		2,312,000	2,234,000	2,273,000	3,165,000
財源内訳	特定財源			0	0
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債	600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	1,712,000	1,034,000	1,073,000	1,965,000
【12】合計		2,312,000	2,234,000	2,273,000	3,165,000
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
実施回数	回	1	2	2	2
<p>《変化の理由》 実施回数を平成25年度から年2回開催とした。また、更なる出会いの場を提供するため平成28年度からは年3回の実施を予定している。</p>					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
参加者数	人	43	77	84	91
カップル成立数	組	4	10	11	12
<p>《変化の理由》 参加者数は、定員を設けていることから、ほぼ横ばい状態である。 カップル成立数については、微増傾向にある。今後もイベント内容を見直していくことにより良好な雰囲気づくりを進め、カップル成立数の増加を図っていくことが必要である。</p>					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
参加者数	53,767	29,013	27,060	34,780
<p>《変化の理由及びそれへの対応策》 単位あたりの金額は増加傾向にある。事業費(委託料)は適当であり変化は無いが、人件費が増加しているのがその原因である。これは、イベント内容等を常に見直して事業に取り組んでいる結果であり適当であると思料する。判定にあたっては、カップル成立数は、不確定要因が多いため、参加者数あたりの単価を中心に検討した。</p>				

出会いサポート事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	関係機関及び参加者等からも高い評価を受けており、継続実施を望む声が多い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	豊岡市が同市社会福祉協議会に委託実施しているが、但馬・丹波地域の多くの自治体では、NPO法人等が実施するイベントに対しての補助金事業となっている。
[3]代替サービスの有無	有

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充 -	◆現状の事業を拡充して実施する。 ◇全国的な課題である過疎化や人口減少に寄与する施策である。民間やNPO法人等によるものもあるが、参加者アンケート等でも行政が主体であることが安心感を生むようである。また毎回、定員を大幅に超える申込があることも市民ニーズの高さを表しており、拡充実施すべきと料する。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充	自然増の促進に大いに寄与している事業である。結婚のみが最終目的ではなく、「住みたい町」朝来市の魅力を積極的にアピールし、定住促進を図る工夫も必要である。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	成果を確認して内容を改善しながらの継続実施とする。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	酒蔵音楽会事業	担当部署	山東支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 205 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	市民自治のまちづくりに向けた地域協働体制の確立(実現の方策)	事業開始年度	評価区分	計画
32	地域づくり人材・組織の育成支援	H 22	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	山東地域の中心に位置する矢名瀬町は、旧街道沿いの商店街を中心に賑わいと活気のある地域であったが、過疎・高齢化と交通・生活スタイルの変化等により、空き家、空き店舗が増加し商店街は疲弊し閑散としている。 この現状からかつての賑わいを取り戻すため、まちなかの再生と活性化を目指す地域組織に対して支援を行い、地域協働によるまちづくりを目指す。			
事業の実施内容等	平成23年度から平成25年度までの3年間にわたり、支所提案型地域活性化事業(まちなか活性化事業)として、まちづくり団体「山東新生まちづくりの会」が実施する「酒蔵音楽会」「鉄道展」「まちなかイルミネーション」等のイベント開催に対して行政支援を行ってきた。平成25年度末をもっての支所提案型地域活性化事業の終了に伴い、以降は、当該団体の自主運営事業とする方向で調整してきたが、「酒蔵音楽会」については、プロの演奏家を招聘することから多額の費用を要し団体の自主財源だけでは実施が困難なこと、また、来場者や当該団体からも開催を要望する声強いことから継続して行政支援を行った。 <実施内容> 時期 平成27年8月18日(火) 1部開演17:45 2部開演19:45 場所 田治米酒造 実施 山東新生まちづくりの会 内容 ワイオリン、ピアノ等のプロ演奏者による「蔵シック」音楽会 観客数 約483人(チケット販売枚数)			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
19.負担金補助及び交付金	1,000,000	酒蔵音楽会事業補助金	1,000,000
合計	1,000,000		1,000,000
財源内訳			
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債	1,000,000	過疎地域自立促進特別事業債	1,000,000
その他			
一般財源	0		0
合計	1,000,000		1,000,000
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

酒蔵音楽会事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
13.委託料	まちなか活性化事業委託料	3,000,000			
19.負担金補助及び交付金	酒蔵音楽会事業補助金		1,669,000	1,000,000	1,000,000
事業費計		3,000,000	1,669,000	1,000,000	1,000,000
[4]正規職員人件費		1,174,000	517,000	537,000	526,000
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		4,174,000	2,186,000	1,537,000	1,526,000
財源内訳					
特 [7]国庫支出金				0	0
定 [8]県支出金				0	0
財 [9]地方債	3,000,000	1,600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
源 [10]その他				0	0
[11]一般財源	1,174,000	586,000	537,000	526,000	
[12]合 計	4,174,000	2,186,000	1,537,000	1,526,000	
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
実施回数	回	1	1	1	1
<変化の理由> 実施回数は、横ばい状態である。本事業は、山東夏祭りの前夜祭的イベントであり、実施回数の増減は無い。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
観客数(チケット販売)	人	475	485	499	483
<変化の理由> 観客数(チケット販売)は、会場規模からもほぼ横ばい状態である。毎年、チケットは完売状態であり、人気の高さが窺える。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
観客数(チケット販売)	8,787	4,507	3,080	3,159
<変化の理由及びそれへの対応策> 単位あたりの金額は横ばい状態にある(H24の金額が高いのは、支所提案型事業として実施され、事業費が高かったため)。				

酒蔵音楽会事業

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	観客からも継続開催を望む声が多い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	近隣市町でもコンサート等のイベントは数多く開催されているが、酒蔵を会場としたコンサートは無いと思われる。
【3】代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続して実施する。 ◇夏祭り等における安全管理が最近厳しく問われるようになり、町なかへの夜店出店が困難となつてことから、夏祭りが寂しくなつたという声も聞かれる。この様な状況の中、地域の賑やかさと活性化を取り戻すことを目的に活動する団体へ一定の行政支援を行うことは適当であると思料する。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	地域活性化及びまちづくり団体の育成に貢献しており、市としても積極的に支援が必要な事業ではあるが、地域自治協議会との連携も考慮した事業展開を今後一考することも必要である。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	地域のイベントとして定着しつつあり継続実施とする。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	山麓地内池周辺整備事業	担当部課	山東支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 303 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増進》	事業開始年度	評価区分	計画
	5 計画的な土地利用と市街地整備の推進	H 27	事業種別	3.施設等整備事業
事業の目的	山麓地内にある湧水池周辺は、急傾斜地崩壊対策事業が行われていた。しかし、昔の基準で設置してあったため、平成16年の台風災害で擁壁が倒れ家屋倒壊被害が発生した。人的被害は無かったものの家から飛び出て一時的に集まる場所が欲しいとの要望がある。当該池については、老朽化が著しく周辺施設等にも影響を及ぼしており、子ども等が転落する危険性もある。また、旧山麓集会所については、老朽化が著しく当該施設が死角となり、付近交差点の自動車の通行に支障をきたしている。このため、当該集会所を解体撤去して交差点を拡げるなど景観にも配慮した池周辺整備を行い、災害発生時に一次避難できる防災スペースの確保と消防水利機能等を発揮できる施設を整備する。			
事業の実施内容等	旧山麓集会所の取壊し(鉄骨2階建 233.46㎡) <参考> 【全体事業計画(予定)】 1. 旧山麓集会所の取壊し(用地整備、交差点改良) 2. 池周辺道路の整備(緊急車両進入のための幅員確保) 3. 池周辺水路の整備 4. 湧水池の整備 5. 防火水槽の整備			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
13.委託料	756,000	旧山麓集会所取壊し工事設計・監理業務委託料	0
15.工事費	4,525,200	旧山麓集会所取壊し工事請負費	0
合計	5,281,200		0
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	5,281,200		0
合計	5,281,200		0
国庫支出金を除いた比率			100.00%

山麓地内池周辺整備事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
13.委託料	旧山麓集会所取壊し工事設計・監理業務委託料				756,000
15.工事費	旧山麓集会所取壊し工事請負費				4,525,200
事業費計		0	0	0	5,281,200
[4]正規職員人件費					
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		0	0	0	5,281,200
財源内訳	[7]国庫支出金				0
	[8]県支出金				0
	[9]地方債				0
	[10]その他				0
	[11]一般財源	0	0	0	5,281,200
[12]合計	0	0	0	5,281,200	
[13]国庫支出金を除いた比率					100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
設計・監理業務委託件数	件				1
<変化の理由> 今年度、着手事業					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
取壊し件数	件				1
<変化の理由> 今年度、着手事業					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
取壊し件数				5,281,200
<変化の理由及びそれへの対応策> 今年度、着手事業				

山麓地内池周辺整備事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	地元地域から整備を望む声強い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	比較対象無し。
[3]代替サービスの有無	無

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	拡充	◆現状の事業を継続して実施する。 ◇地域の生活・防災環境を確保するための事業であり、地元地域からの強い要望がある。平成28年度に地元区との調整により設計に着手し、翌年度に施工を予定している。
事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	拡充	野面積みで底張りのない湧水池が集落内の中心にあり、汚泥の堆積による悪臭など不衛生な状況に加え、漏水によって周辺住居に支障をきたしているため、早急にその改善を図り、快適な生活環境の確保に努める必要がある。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	二次評価のとおりとする。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	花づくり運動推進事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 201 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	計画
12	循環と共生の環境保全の推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民と行政が連携して花づくりを展開することにより、安らぎとうるおいのある美しい景観を創出し、魅力あるまちづくりを推進する。			
事業の実施内容等	<p>花づくり運動推進事業 これまでの育苗や花づくり普及活動委託に加え、新たに花壇への植栽(庁舎周辺、朝来体育館、朝来駐在所前等)を委託し、より一層花にあふれる地域を目指す。</p> <p>オープンガーデン事業 個人やグループの庭を一定期間一般に公開する。またオープンガーデン事業を市内外にPRし、花いっぱいのみちとして市民の花づくり意欲を高める。</p> <p>美しい里づくり事業 地域ごとに特色のある花木で修景された美しい里の景観形成を推進するため、花木の植栽や管理を行う地区または地区内グループに対し、花木などの現物支給による支援を行う。</p> <p>美しい景観の拠点づくり事業 公共施設や地域の公園、名所等を、花が咲く美しい景観の拠点として整備し、庭園化を進めるとともに、花づくりの輪を広げることを目的として、個人やグループに対して花苗などを現物支給し、その植栽育苗活動を支援する。</p>			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
9.旅費		活動旅費(花いっぱい協会)	
11.需用費	509,788	オープンガーデン冊子、チラシ印刷代ほか	778,575
12.役務費	41,164	新聞折込み手数料	43,302
13.委託料	380,000	育苗、庁舎周辺植栽(花いっぱい協会)	321,312
14.使用料及び賃借料	30,000	ビニールハウス用地使用料	30,000
16.原材料費	224,208	苗木	379,728
合計	1,185,160		1,552,917
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,185,160	1,552,917
合計	1,185,160		1,552,917
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	事業協力者報償	50,000	77,742		
9.旅費	活動旅費(花いっぱい協会)	2,200			
11.需用費	オープンガーデン冊子、チラシ印刷代ほか	438,314	1,711,999	778,575	509,788
12.役務費	新聞折込み手数料	45,122	44,948	43,302	41,164
13.委託料	育苗、庁舎周辺植栽(花いっぱい協会)	522,075	433,880	321,312	380,000
14.使用料及び賃借料	ビニールハウス用地使用料	30,000	30,000	30,000	30,000
16.原材料費	苗木	2,389,883	414,480	379,728	224,208
事業費計		3,477,594	2,713,049	1,552,917	1,185,160
【4】正規職員人件費		3,408,000	580,000	645,000	723,000
【5】臨時職員人件費		1,681,000	1,927,000	589,000	934,000
【6】総合計		8,566,594	5,220,049	2,786,917	2,842,160
財源内訳	特定財源				
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	8,566,594	5,220,049	2,786,917	2,842,160
	【12】合計	8,566,594	5,220,049	2,786,917	2,842,160
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
オープンガーデン公開箇所	箇所	14	16	14	12
花のポット苗配布数	個	20,000	20,000	20,000	20,000
<変化の理由> オープンガーデン公開箇所が減少傾向にある。花いっぱい協会会員が高齢化しているため、花や庭の手入れが難しくなっているため。 花のポット苗配布数は横ばいである。花いっぱい協会が安定的に花苗を育苗しているため。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
オープンガーデン公開箇所	箇所	14	16	14	12
花の苗栽培人数	人	150	150	150	200
<変化の理由> オープンガーデン公開箇所が減少傾向にある。花いっぱい協会会員が高齢化しているため、花や庭の手入れが難しくなっているため。観覧者数は毎年1,000人程度で横ばいしている。(概数) 花の苗栽培人数は27年度に増えている。花いっぱい協会会員が栽培に力を入れているため。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
オープンガーデン公開箇所	611,900	326,253	199,066	236,847
<変化の理由及びそれへの対応策> 事業費が減少傾向である。 24年度・25年度とフラワーフェスティバルを開催したため事業費が多い。 24年度に美しい里づくり事業、美しい景観の拠点づくり事業で花木・花苗を支給し地域活動を支援したため事業費が多い。 25年度に花の拠点整備をしたため事業費が多い。				

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	花の咲き誇る美しい住環境をすることによって、地域の魅力度を高め、この地域に住んで良かった、住んでみたいと思わせるような地域づくりをしたいという花いっぱい協会会員の意見が多い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	とよおかオープンガーデンショー 公開箇所19箇所
【3】代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡大	◆現状の事業を継続的に実施する。 朝来地域のまちづくりには花が必要であるとの意見が多いため、次年度以降も進めていきたい。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡大	◆現状の事業を継続的に実施する。 花のあるまちづくりが定着しつつあるため、次年度以降も進めていきたい。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡大	/
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡大	活動が活性化するよう見直しが必要である。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	朝来特産品PR事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 200 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く(社会増進)	事業開始年度	評価区分	計画
7	付加価値を高める農畜産業の振興	H 23	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	地元特産野菜を基本とした多様な農産物の生産拡大を進め、地産地消活動を活性化して地域内の流通を拡大し、地元産業の活性化を図る。			
事業の実施内容等	地産地消活動を活性化し、地域内での流通を拡大するため、各種イベントや都市部で地元農産物の直売活動を積極的に展開する。 朝来地域自治協議会と連携し、神戸元町水曜市や播磨町での特産直売活動を展開する。 小、中学生にも郷土の特産品を理解してもらうため、栽培体験学習や料理実習を行う。			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	130,000	体験学習等協力者謝礼	100,000
9.旅費	92,070	職員旅費等	181,170
11.需用費	96,237	岩津ねぎキャンペーン材料代、その他消耗品	91,947
13.委託料	100,000	体験農場農作物管理	100,000
14.使用料及び賃借料	50,000	出店料	55,000
合計	468,307		528,117
財源内訳	特定		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源	468,307		528,117
合計	468,307		528,117
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

[1]節区分	[2]説明	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	体験学習等協力者謝礼	194,500	110,000	100,000	130,000
9.旅費	職員旅費等	148,050	194,050	181,170	92,070
11.需用費	岩津ねぎキャンペーン材料代、その他消耗品	406,226	297,215	91,947	96,237
13.委託料	体験農場農作物管理	80,000	80,000	100,000	100,000
14.使用料及び賃借料	出店料	47,000	60,000	55,000	50,000
18.備品購入費	出店用テント購入費	270,900	99,750		
事業費計		1,146,676	841,015	528,117	468,307
[4]正規職員人件費		3,256,000	1,669,000	1,773,000	1,669,000
[5]臨時職員人件費				187,000	182,000
[6]総合計		4,402,676	2,510,015	2,488,117	2,319,307
財源内訳	[7]国庫支出金			0	0
	[8]県支出金			0	0
	[9]地方債			0	0
	[10]その他			0	0
	[11]一般財源	4,402,676	2,510,015	2,488,117	2,319,307
[12]合計	4,402,676	2,510,015	2,488,117	2,319,307	
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

[1]事業の活動を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
小中学生体験学習開催数	回	8	6	8	9
出店回数	回	12	14	13	13

<変化の理由>
 小中学生体験学習開催数が微増なのは、土寄せ体験学習、調理実習等が増えているため。
 出店回数は微増減である。

[2]事業の成果を表す数値	単位	年度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
体験学習参加者数	人	240	240	250	650
出店回数	回	12	14	13	13

<変化の理由>
 体験学習参加者数の増は、山口小学校が4年生対象だったのを全校児童に2回体験学習を広げたため。
 出店回数は微増減である。

5. 成果単位あたり金額(円)

[1]単位あたり金額	年度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
体験学習参加者数	18,344	10,458	9,952	3,568

<変化の理由及びそれへの対応策>
 体験学習参加者数は山口小学校が4年生対象だったのを全校児童に2回体験学習を広げたため減少となった。
 24年度は人件費の比率が高いため。

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	小中学校からは、郷土の特産品を理解するために、栽培体験学習や料理実習を行ってほしいとの意見を多く聞く。H28から朝来地域自治協議会の意向により特産品直売活動を終了した。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	なし
[3]代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆改善見直し 小中学校からは、郷土の特産品を理解するために、栽培体験学習や料理実習を行ってほしいとの意見が多く、栽培体験学習を翌年度以降も継続したい。 H28から朝来地域自治協議会の意向により特産品直売活動を終了したため。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	○ 改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆改善見直し 郷土の特産品を理解し、若い世代へ継続したい。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	○ 改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	二次評価のとおりとする。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	朝来地域交流・活性化事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 203 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く(社会増進)		事業開始年度	評価区分	計画
	6	多文化交流の推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	地域内、地域外の交流活動を推進し、交流を通じて連帯感を醸成すると共に、地元産物などの物流を活発化して、地域の活性化を目指す。				
事業の実施内容等	ふるさと朝来会との交流事業 関西圏在住の旧朝来町出身者で構成する「ふるさと朝来会」と連携し、会員を増やすと共に会員へ朝来市の情報を積極的に発信して朝来市の応援活動呼びかける。 朝来ふれあい元気まつり 地域内外の交流と物流の活性化を目指し、朝来地域自治協議会を始め、関係機関や各種団体が朝来支所前に会し、「朝来ふれあい元気まつり」を開催する。また、文化協会「あさご劇場」と同日開催により、集客力を高めた。				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	43,907	事業協力者謝礼等(元気まつり)	100,884
9.旅費	11,880	職員旅費(ふるさと朝来会)	
11.需用費	137,034	チラシ印刷費・大なべ材料代(元気まつり)	127,103
12.役務費	18,099	郵便代(ふるさと朝来会)、傷害保険料(元気まつり)	69,821
14.使用料及び賃借料	131,952	資器材借上げ(元気まつり)	229,152
合計	342,872		526,960
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源	342,872		526,960
合計	342,872		526,960
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	事業協力者謝礼等(元気まつり)	278,014	204,100	100,884	43,907
9.旅費	職員旅費(ふるさと朝来会)	15,500	10,200		11,880
11.需用費	チラシ印刷費・大なべ材料代(元気まつり)	144,891	166,375	127,103	137,034
12.役務費	郵便代(ふるさと朝来会)、傷害保険料(元気まつり)	70,175	70,892	69,821	18,099
14.使用料及び賃借料	資器材借上げ(元気まつり)	215,950	3,000	229,152	131,952
事業費計		724,530	454,567	526,960	342,872
【4】正規職員人件費		2,316,000	983,000	740,000	1,031,000
【5】臨時職員人件費		420,000	107,000	53,000	52,000
【6】総合計		3,460,530	1,544,567	1,319,960	1,425,872
財源内訳	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	3,460,530	1,544,567	1,319,960	1,425,872
【12】合計	3,460,530	1,544,567	1,319,960	1,425,872	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
朝来ふれあい元気まつり開催回数(三世代グラウンドゴルフ大会)	回	2	1	1	1
ふるさと朝来会会員数	人	197	196	194	171
<変化の理由> 24年度は三世代交流グラウンド大会を開催していたが、25年度から取りやめたため。 ふるさと朝来会会員数は高齢化により27年度は減となっている。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
ふるさと朝来会会員数	人	197	196	194	171
<変化の理由> 24年度は三世代交流グラウンド大会を開催していたが、25年度から取りやめたため。 ふるさと朝来会会員数が高齢化により27年度減となっている。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
ふるさと朝来会会員数	17,566	7,880	6,804	8,338
<変化の理由及びそれへの対応策> 24年度は三世代交流グラウンド大会を開催していたため事業費が高い。25年度からは三世代グラウンド大会を取りやめたため事業費が微増減となっている。 ふるさと朝来会会員数が高齢化により27年度減となっているため。				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	【ふるさと朝来会】会員から、朝来市とのつながりや交流を深めたいとの意見が多い。 【朝来ふれあい元気まつり】市民から継続開催してほしいとの意見が多い。
[2]近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	なし
[3]代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 【ふるさと朝来会】会員から、朝来市とのつながりや交流を深めたいとの意見が多いため継続開催としたい。 【朝来ふれあい元気まつり】市民から継続開催してほしいとの意見が多いため、朝来地域を代表するまつりであり、市民ニーズが高いため継続開催としたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 ◇交流活動を通して、朝来地域の活性化を図るため継続開催したい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	二次評価のとおりとする。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	たたらぎダム湖マラソン事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	10 - 06 - 01 - 004 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	朝来市多々良木ダム湖マラソンのスポーツイベントを通じて、全国のランナーに朝来の景観や特産物をPRし、朝来のリピーターとしての交流人口を拡大する事業。			
事業の実施内容等	多々良木ダム湖マラソン実行委員会を支援し、行政と協働して事業を実施。 朝来市最大のスポーツイベントを開催するための補助金。 平成27年度は30回記念大会と市制10周年記念という事で記念事業を実施する。 また、当日はランナーを対象に但馬牛や岩津ねぎなど特産品が当たるお楽しみ抽選会や、バザーなども開催して全国のランナーに朝来の景観や特産物のPRを行い、朝来のリピーターとしての交流人口を拡大する。 第30回たたらぎダム湖マラソン大会 開催日 平成27年6月7日(日) 場所 多々良木ダム湖周辺 部門 ハーフマラソン、10km、5km、ジョギング2km 主催 たたらぎダム湖マラソン大会実行委員会 参加者 約2,200名			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
19.負担金補助及び交付金	4,400,000	たたらぎダム湖マラソン大会補助金	4,400,000
合計	4,400,000		4,400,000
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	4,400,000		4,400,000
合計	4,400,000		4,400,000
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

たたらぎダム湖マラソン事業

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
19.負担金補助及び交付金	たたらぎダム湖マラソン大会補助金	4,000,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
事業費計		4,000,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
【4】正規職員人件費		4,592,000	3,687,000	5,126,000	4,397,000
【5】臨時職員人件費		1,050,000	1,178,000	1,044,000	597,000
【6】総合計		9,642,000	9,265,000	10,570,000	9,394,000
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他			0	0
	【11】一般財源	9,642,000	9,265,000	10,570,000	9,394,000
	【12】合計	9,642,000	9,265,000	10,570,000	9,394,000
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
マラソン運営人員数	人	400	400	400	450
イベント出店数		20	20	20	18

＜変化の理由＞
 マラソン運営人員数の増は、中学生ボランティアが増えたため。
 イベント出店数の減は、みのり館が閉鎖中と与布土温泉が出店を取りやめたため。

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
マラソン参加選手数	人	2,276	2,236	2,240	2,222
イベント参加者数	人	4,000	4,000	4,000	4,000

＜変化の理由＞
 マラソン参加選手数は横ばいである。駐車場に限りがあるのと、走路(道路)の幅員が狭いため、多くなると大変危険なため、参加申込み人数をハーフ1,000人、5km・10km1,000人とジョギング500人としているため。
 イベント参加者数は横ばいである。(概数)リピーターが多いためと家族連れの利用が多いため。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
マラソン参加選手数	4,236	4,144	4,719	4,228

＜変化の理由及びそれへの対応策＞
 事業費に変化はあまりない。
 マラソン参加選手数は横ばいである。駐車場に限りがあるのと、走路(道路)の幅員が狭いため、多くなると大変危険なため、参加申込み人数をハーフ1,000人、5km・10km1,000人とジョギング500人としているため。

たたらぎダム湖マラソン事業

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	インターネット(ランネット)での意見では、満足度が高い。また、リピーターが多いのは、満足度が高いと思われる。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	兵庫神鍋高原マラソン全国大会 参加選手数4,517人 兵庫市川マラソン全国大会 参加選手数1,537人
[3]代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 朝来市多々良木ダム湖マラソンのスポーツイベントを通じて、全国のランナーに朝来の景観や特産物をPRすることや、朝来のリピーターとして交流人口を拡大するためにも、継続して開催する必要がある。
事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

B. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 朝来市最大のスポーツイベントを通じて、交流人口の拡大を図るため、継続開催が必要である。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	二次評価のとおりとする。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	